

日本代協

セミナーや情報交換を
行う時間を経営の気づき、
知識向上の場として

日本代協(小田島綾子会長)は3月13日、東京・千代田区の損保会館にて2025年度臨時総会を開催した。総会では2026年度事業計画案承認の件、正会員会費案承認の件、収支予算案承認の件について審議し、いずれも承認可決された。

小田島会長は、日本代協が現状で注力する重点項目は「業務品質のさらなる向上」「地域社会との連携強化」「指定教育機関としての役割発揮」だと説明。このうちの業務品質向上については「体制整備と品質向上を両立させる」が重要だと述べ、損害保険大学課程の改訂に伴い損保協会とワーキンググループを立ち上げ、タスクフォースを推進するとしている。

協会の現状で注力する重点項目は「業務品質のさらなる向上」「地域社会との連携強化」「指定教育機関としての役割発揮」だと説明。このうちの業務品質向上については「体制整備と品質向上を両立させる」が重要だと述べ、損害保険大学課程の改訂に伴い損保協会とワーキンググループを立ち上げ、タスクフォースを推進するとしている。

「体制整備と品質向上を両立させる」が重要だと述べ、損害保険大学課程の改訂に伴い損保協会とワーキンググループを立ち上げ、タスクフォースを推進するとしている。

「体制整備と品質向上を両立させる」が重要だと述べ、損害保険大学課程の改訂に伴い損保協会とワーキンググループを立ち上げ、タスクフォースを推進するとしている。



小田島会長

「特定修業生排除」の取組も進め、今年度は「日本郵政グループ」における保険販売を推進するとしている。

大学課程運営で損保協会と
ワーキンググループ立ち上げ